

2019

レース結果報告書

全日本選手権 第7戦 オートポリスサーキット



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

レース

Race

シーズンの中で最も厳しい戦いを予想していたオートポリス大会で予想を覆す好走を豊島怜と谷本音虹朗の二人が演じてくれました。メカニックも少ない走行時間の中でマシンをしっかりと仕上げてくれた事でウイーク初日から攻めのライディングが出来ました。チームの総合力の底上げを感じる事が出来たオートポリス大会。そのレース結果をご報告いたします。

名トンベイ : 全日本選手権 第7戦 オートポリス大会

開催日 : 2019年10月4~10月6日

観客動員数: 6435人

レース結果 : J-GP2 #18 豊島 怜 予選 8位 決勝 リタイヤ
JP250 #3 谷本音虹郎
予選3位 (INT2位) 決勝2位 (INT1位)

WEBリザルト :

http://www.mfj.or.jp/user/contents/race_result2019/road_race/2019result/rd07/index.html



レース

Race

J-GP 2

豊島怜は自己ベスト更新で目標タイムをクリア。YZF-R6のノーマルにスリックタイヤを履いたアジア選手権仕様で戦う豊島の目標は今年の伊藤選手達が記録したタイムを超える事。今回オートポリスでようやくこの目標をクリアする事が出来ました。タイムも1分53秒台と入賞を狙える位置からのスタート。得意のセクター3でレース終盤に前に出て抑え込む作戦で決勝を迎えました。しかし決勝レースのオープニングラップの最終コーナーでハイサイド転倒。気持ちが先行して空回りしてしまい残念な結果でレースを終える事になってしまいました。

幸い大きな怪我もなく1週間ほどで回復できる程度の怪我ですみました。

JP250

谷本は表彰台まであと一歩のところになかなか結果を残すことができない悔しいレースが続きましたが、MFJカップ初表彰台で優勝することができました。公式予選では2戦連続のフロントローを獲得して前戦岡山大会の2番手がブロックでない事を証明。決勝ではホールショットを奪いながらもストレートで抜かれる厳しい展開。接触もあり途中何度も順位を落とすことがありましたが、諦めずにプッシュ。最終ラップも5番手から他車を圧倒するコーナーリングで1台ずつ処理して総合2番手に上がりチェッカー。初表彰台が嬉しいクラス優勝になりました。

地元のサーキットで優勝することができて嬉しさ爆発してました。



ライダーコメント

Race

豊島怜コメント

「ご心配をおかけしました。完走できず申し訳ありませんでした。幸いにも脳震盪や骨折など大きな怪我はありませんでした。安全性の高い装備のお陰です。ドライのペースは格段に良くなっています。オートポリスで大きく前進したことは間違いありません。後はリザルトを残すこと。反省すべき点をしっかり反省します。そして切り替えて最終戦の鈴鹿に臨みます。これからも挑戦を続けます。

チームの皆様、スポンサー各位、応援して下さいました皆様ありがとうございました。」



谷本音虹郎コメント

「スタートを決め1コーナーをトップで立ち上がることができました。その後永島選手に抜かれ、2位で1周目を終えました。6台でのトップ集団のバトルなり3番手を走行中1コーナーで接触してバランスを崩し6番手まで後退しましたが、なんとか集団についていくことができました。11周目に5番手まで後退してラストラップに突入しましたが最後まで諦めずにプッシュして徐々に順位を上げることができ総合2位でクラス優勝することができました。まだまだ集団でのバトルで甘いところがあったので次戦ではもっと前に出れるよう努力します。次戦の鈴鹿ではヤマハ勢トップと総合優勝を目指して頑張ります！宜しくお願い致します。」



コメント

Ofisyaru Comment

マシンのにはアップダウンが激しくストレートも長いオートポリスのコースはR25にとって最も厳しい戦いを予想していました。その為ストレート勝負を捨てて「後半セクション(セクター3)の登り区間でタイムを稼ぎラップタイムを詰める事」、「チェッカーラインが最終コーナー寄りの為、そこまで逃げ切れる加速に合わせる」。この2点に絞って車体をセットアップ。狙い通り谷本はセクター3の最速タイムを記録して今回の好成績に結び付けてくれました。
豊島のR6にとっても厳しいコースでしたがセクター3で上位陣に引けを取らない走りで喰らいつき現状でのマシンポテンシャルを出し切る走りを見せてくれました。

今回は二人ともよく頑張りました。転倒を恐れず果敢に攻め続けた谷本音虹郎。入賞狙いじゃなく、トップ集団を追いかけようとフルスロットルで仕掛けた豊島怜。結果は天国と地獄かもしれないけど攻める気持ちは同じく評価しています。
経験で転倒は回避できるけど攻める気持ちを育てる事は簡単じゃありません。今回のレースウィークは果敢に攻めた2人のおかげで得るものの多いレースでした。

次戦はいよいよ最終戦の鈴鹿大会です。谷本は本当の優勝(総合優勝)出来なかった悔しさを、豊島には頑張ってくれたメカやファンの皆さんに完走を届けられなかった悔しさを、鈴鹿で完全燃焼できるよう今から精進。まだまだ若い2人の成長のために皆様応援宜しくお願い致します

JP250動画(13分スタートです)

<https://www.youtube.com/watch?v=9RtfrMnu2GM&t=1383s>

GP2動画(33分スタートです)

<https://www.youtube.com/watch?v=G5xNCXyk4mQ>

ドッグファイトレーシング
室井秀明

スポンサー

Sponsor

Sponsor



竹中興運

Nakano Co., Ltd.



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！



ギャラリー

